

# シンポジウム 地域の発展と再生可能エネルギー

## 2012年11月20日(火) 13:30~17:00

(受付13:00~)

定員：250名 参加費：無料(要事前申込み)

会場：東京大学 生産技術研究所 コンベンションホール(駒場リサーチキャンパス An棟 2F)



再生可能エネルギーへの関心が急速に高まっています。環境経営学会では3・11直後にパラダイムシフトを伴うライフスタイルの変革とエネルギー政策の抜本的な変更を訴える緊急提言を公表しました。これを受けて再生可能エネルギー研究委員会において基本的な研究を続ける一方、島根県隠岐郡海士町に、離島の発展に再生可能エネルギーの活用が如何に役立つかについて実証の場を求め、海士町との連携を深めてきました。少子高齢化や雇用の欠如はわが国の多くの離島や過疎地においてさらに加速することが予想されます。今回、サステナビリティ日本フォーラムとの共催で実施するシンポジウム「地域の発展と再生可能エネルギー」が、このような課題の多い将来に少しでも役立つよう、皆様との議論を深めたいと考えています。

### 基調講演者



島根県隠岐郡海士町  
町長 山内道雄氏

<プロフィール>

1938年 海士町生まれ。  
NTT通信機器営業支店長、(株)海士総支配人を経て、1995年海士町議に当選。二期目に議長就任。2002年町長に初当選。敢えて単独町制を選択し、大胆な行財政改革と地域資源を活用した「守り」と「攻め」の戦略で、島興しに奮闘中である。島根県離島振興協議会会長、全国離島振興協議会副会長、第三セクター「(株)ふるさと海士」社長

島根県隠岐郡海士町：現在人口は約2400人。島根県の北60km、日本海に浮かぶ隠岐諸島の中の一つの島(町)。後鳥羽上皇が流された流刑地としても有名で、神楽や俳句などの歴史文化や伝統が残っており、また島すべてが国立公園に指定されるほどの自然豊かな島。

年間に生まれる子ども約10人。人口の4割が65歳以上という超少子高齢化の過疎の町。人口の流出と財政破綻の危機の中、独自の行政改革と産業創出、人づくりによって今や日本で最も注目される島となる。町長は給与50%カット、課長級は30%カット(公務員の給与水準としては全国最低となる)。その資金を元手に最新の冷凍技術を導入。海産物のブランド化により全国の食卓を始め、海外へも展開する「(株)ふるさと海士」。この7年間で300人以上の1ターン者を全国から受け入れるなど、新しい挑戦をしたいと思う若者たちの集う島となっており、まちおこしのモデルとして全国の自治体や国、研究機関などから注目を集めている。

### プログラム

13:30 開会に際し

13:45 基調講演

「持続可能な町づくり～海士町の挑戦～」

島根県隠岐郡海士町 町長 山内道雄氏

～休憩(15分)～

14:45~17:00 パネルディスカッション

「地域の発展に再生可能エネルギーはどう貢献できるのか」

パネリスト：(五十音順)

- ・阿部 裕志氏(海士町在住 株式会社巡の環 代表取締役)
- ・落合 寛司氏(西武信用金庫 理事長)
- ・小林 光氏(慶応義塾大学大学院教授、元環境省事務次官)
- ・後藤 敏彦  
(環境経営学会 理事 再生可能エネルギー研究委員会  
海士町プロジェクトリーダー、  
NPO法人サステナビリティ日本フォーラム 代表理事)
- ・泊みゆき氏  
(NPO法人バイオマス産業社会ネットワーク(BIN) 理事長)

コーディネーター：

- ・青木 修三  
(環境経営学会 理事 再生可能エネルギー研究委員会 委員長)

17:00 閉会

17:30 懇親会(An棟 1F 会場にて)

主催 特定非営利活動法人環境経営学会

特定非営利活動法人サステナビリティ日本フォーラム

後援 環境省、農林水産省(予定) 経済産業省

助成協力 三井物産環境基金、エコポイント事務局

# <会場>

東京大学 生産技術研究所 目黒区駒場4丁目6番1号

午前の部 **As棟 セミナー室 (駒場リサーチキャンパス)**  
同日午後のシンポジウム「地域の発展と再生可能エネルギー」会場に隣接

シンポジウム **コンベンションホール (駒場リサーチキャンパス An棟 2F)**

※当日は公共機関をご利用の上、ご来場ください。

井の頭線 **推奨** 駒場東大前駅より徒歩10分  
池ノ上駅より徒歩10分

小田急線/東京メトロ千代田線

東北沢駅より徒歩7分、代々木上原駅より徒歩12分



## 地域の発展と再生可能エネルギー について考えるシンポジウム

### 環境経営学会・Sus-FJ共催シンポジウム 「地域の発展と再生可能エネルギー」 事前登録申込書

**2012.11.20 参加料無料**

お申し込み  
FAX番号 **03-5423-6921**  
※お使いのFAX機種によっては、本申込書をコピーしてご利用ください。

お問い合わせ  
E-mail **info@sustainability-fj.org**



↓ 枠内にお名前を添付してコピーしていただくか、下の記入欄にご記入の上お申し込みください

<p>氏名</p> <p>(姓) _____ (名) _____</p> <p>フリガナ _____</p> <p>会社名 _____</p> <p>部署名 _____</p> <p>役職名 _____</p> <p>住所 〒 _____</p> <p>電話番号 _____</p> <p>Eメールアドレス _____</p>	<p>このシンポジウムをどこでお知りになりましたか(複数回答可)</p> <p>① Sus-FJメールマガジン ② Sus-FJホームページ</p> <p>③ 環境経営学会ホームページ</p> <p>④ 他メルマガ ( _____ )</p> <p>⑤ 他HP ( _____ )</p> <p>⑥ 知人から</p> <p>⑦ その他 ( _____ )</p> <hr/> <p>午前の部のワークショップには参加されますか</p> <p style="text-align: center;">参加 ・ 不参加</p> <hr/> <p>当日はどのような立場でご参加されますか</p> <p>① 企業 ② NGO/NPO ③ 一般</p> <p>④ 学生 ⑤ 自治体</p> <p>⑥ その他 ( _____ )</p> <hr/> <p>&lt;懇親会&gt; 会費 (3,500円程度) 参加 ・ 不参加</p> <p style="text-align: center;">An棟 1F イタリアンレストランにて</p>
---	--

- 定員になり次第締め切ります。満席の場合お申込はお断りすることがありますので、あらかじめご了承ください。
  - インターネットからもお申し込み可能です。詳しくは <http://www.sustainability-fj.org/> サステナビリティ日本フォーラムHPをご利用ください。
  - ご記入内容については、サステナビリティ日本フォーラムからの案内、環境経営学会からの案内に使用させていただく場合がございます。
- ※ワークショップ・シンポジウムの内容は事前の告知なしに変更する場合がございます。